

2025(令和7)年度 第9号

岩国市教育委員会 生涯学習課

地域連携教育だより

いわくに地域連携教育アドバイザー

岩国市HP



つながり

大上好久

令和7年8月15日発行

Tel:29-5210

Fax:21-3456



周東中学校



二次元コードから
閲覧可能です。

子供と大人との対話で 地域が元気に！

文部科学省は、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた 学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進施策について(中教審 答申)」<平成27年12月>で「これからの学校と地域の目指すべき連携・協働の姿」として次のように述べています。「地方創生の観点からも、学校という場を核とした連携・協働の取組を通じて、子供たちに地域への愛着や誇りを育み、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深め、自立した地域社会の基盤の構築・活性化を図る“学校を核とした地域づくり”を推進していくことが重要である。」

本号は、地域課題の解決に向け、生徒主体の活動を展開している周東中学校を紹介します。



「地域の課題や地域貢献」について 地域住民と共に考える 学級活動・生徒総会

【学級活動 6月】



中学生の皆さんが、真剣に話し合っていて素晴らしかったし、皆さんと直接話せてとても嬉しかったです。<地域住民>

地域の皆さんへは環境整備等で、とてもお世話になっています。地域の方への感謝を込めて、恩返しできることを考えました。<中学生>

ふるさと祭りなどのイベントへの積極的参加や進んで笑顔で挨拶をすることがあがっています。<中学生>



「クラスごとではなく、地区別のグループで話し合ったら、活発な討議になるのでは!!」という生徒会長の提案で実現しました。生徒が本気で地域の良さを見つけたり、課題の解決方法を考えたりしました。生徒の底力を感じました。<教頭>

地域はじいちゃん、ばあちゃんが多い。声をかけてもらうだけで嬉しいし、ちょっとでも手を貸してもらおうと助かる。笑顔のあいさつも有難い。<地域住民>

【生徒総会 7月】



先程、トイレに行った時、ドアを開けてくれた優しい生徒がいました。さりげない親切が本当に有り難いものです。地域のイベントでも”何かをしなければならぬ”ではなく、少し手を差し伸べてもらえるだけで十分です。<地域住民>

生徒会執行部が、クラスごとの意見をうまく引き出し、司会進行しました。生徒は、質問を受けた時、仲間と知恵を出し合ってしっかりと返答していました。地域貢献への思いの高まりを感じました。<生徒会担当>

周東地域では、周東中山湖マラソンや食肉フェア等のイベントがあります。中学生の皆さんのボランティアは本当に有難いです。これからもよろしくお願いします。<地域住民>



周東地区は、6つ(本年度より5)の小学校で、それぞれの地域の方とかかわりを深め、中学校へと進学してきます。人は与えられた愛情の量が多ければ多いほど自立が早いと言われています。具体的な活動を通して地域の方とのつながりを深めることで、自己肯定感、他者肯定感が高まり、地域貢献への意欲につながっていると感じました。

